町政報告

（主な内容）

12月定例町議会が、12月9日から16日までの8日間の日程で開催されました。初日、町長が町の現状や課題などについて町政の概要を報告、12日には6人の議員が登壇し一般質問を行いました。今議会では、町の公共施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例や平成17年度二ツ井町一般会計補正予算など13議案について審議され、いずれも原案どおり可決されました。

能代市二ツ井町合併協議

11月21日の合併協議会において、一般職の職員の身分の取り扱いや福祉関係事業など、協定項目の具体的内容10件について協議を行いました。保育料については、違いのあるところは基本的に安い金額にあわせることとした結果、多くの階層で引下げが図られることになりました。一部、高所得者層においては、引上げが見込まれますので、激変緩和措置を講じることとしております。

合併協議会はこれで11回目を数え、大方の協議を終えて、残りはあと一部となりました。残っているのは、現在、共同で策定を進めている介護保険事業計画、老人保健福祉計画に関連した事業などであり、来年2月、最終の協議会で協議を終える予定としております。

先の協議会ではまた、議題に先立って、新市の市章を決定しております。5つの候補作品から、委員の投票により、東京都杉並区のグラフィックデザイナー、佐土正道さんの作品が選ばれました。両親ともに、県北の出身者とのことであります。

平成18年度予算編成

町では、18年度の予算編成に着手しております。合併に伴い、18年度は年度当初、3カ月間の暫定予算でスタートし、新市長、議員が選出されてから本予算を提案する運びとなっております。作業中の当初予算は、合併後の暫定予算、及び、本予算の原案となるものでありますので、両市町ともに「収支均衡のとれた通年予算」を編成し、これを合算、調整することとしております。

暫定予算は、基本的に歳入、歳出ともに4月から6月までの3カ月間に執行する経費を計上するものとし、各施設の維持管理経費など年間を通じた契約が必要なものを一部例外として、新市本予算が議決を経て成立するまでの間、必要最小限の収支について、新市の市長職務執行者により専決処分されることとなっております。本予算は、新市長が選出されてから、原案について調整し、新市議会に提案される運びであります。

今年度の予算は、町としての執行は、18年3月20日をもって打ち切り決算といたしますが、合併後、両市町で収入・支出ができなかったものを合算し、新市の17年度暫定予算として計上することとなります。執行期間は11日間であります。

二ツ井プロジェクト

能代市、二ツ井町の職員13人で組織する二ツ井プロジェクト検討会議は、7月21日からこれまで6回開催し、新市における二ツ井地域の重点課題や合併による住民の不安解消対策を検討してきております。

このプロジェクトの中で、住所表示の変更を伴う二ツ井町民に対する支援策として、経費の一部を補助する事業をあげております。経費を能代市が負担し、封筒や名刺の書き換えなどかかった経費の2分の1以内、5万円を限度として、補助する内容であり、来年2月から施行するよう準備を進めております。

稲作

今年の稲作は、天候が良好に経過したことから、作況指数で県北は102の「やや良」でありました。

JAあきた白神によりますと、町内の17年産米集荷状況は、計画対比99・7%、一等米比率は昨年を大幅に上回る94・5%となってお

12月定例町議会

ります。

米政策改革における17年度の生産調整対策は、出入り作や市町村間の調整により５８０３トンとなり、作付面積にしますと、１０５０ヘクタールとなりました。町に交付される産地づくり交付金は、６１９１万６０００円であり、基本助成の対象となる生産調整参加者の生産数量は５０２１トン、転作面積では３８７ヘクタール分でありました。今月下旬には、４８００万円余を交付すべく作業を進めております。

18年産米の生産目標数量は、全国ベースで26万トン減となり、11月25日、国から県へ昨年より減少配分されました。近く、町村への配分が行われるものと予想されますので、産地づくり対策とあわせ、売れる米づくりを推進して参ります。

農産物直売所

道の駅「ふたつい」地内に、「木のまち」「環境のまち」をアピールできる建物をめざした、農産物直売所「きみまち杉ちょくん」が完成、10月20日にオープンしました。オープン初日から、地元の新鮮な野菜、新米、餅やつけものなどの加工品を買い求める人たちで賑わい、年末までの販売計画額を大きく上回る見込みであるとうかがっております。

▲買い物客でにぎわう杉ちょくん

携帯電話

ＮＴＴドコモによる携帯電話の電波改善でありますが、荷上場の基地局は、10月21日よりサービスが開始されております。

樋ノ口は、現在工事が進められており、サービス開始は来年３月中とうかがっております。小　地区は、来年３月末を工期として基地局整備が進められる方針であるとうかがっております。いずれも、利用対象は、次世代型の携帯といわれる「ＦＯＭＡ」であります。

引き続き不通話区域の解消に努めて参ります。

防災行政無線

防災行政無線につきましては、東北総合通信局へ防災行政無線局の免許申請手続きを進めるとともに、本町、荷上場、小　の10箇所に屋外拡声子局の支柱設置を終えております。今後は国からの使用周波数の決定を受け、親局などの機器類の組み立て、設置を終え、東北総合通信局の検査を経て、３月には開局できるよう作業を進めております。

また、開局後の防災、地域情報の伝達など、町民サイドに立って、この防災行政無線の有効活用を図るため、管理運用規程の策定を進めて参ります。

仁鮒地区水道整備

仁鮒・小掛・鬼神地区の水道整備につきましては、小掛地区へ年内に給水するための配水管布設を急いでおりましたが、現在、完成に向けて最終的な工事を進めており、予定どおり、正月前には給水できると見込んでおります。引き続き、仁鮒と鬼神の整備事業を推進して参ります。

また、17年度に計画していた配水池工事は、用地取得の調整が難しく、18年度へ繰り延べることとし、配水管布設と浄水、送水設備工事を繰り上げ実施する予定にしております。配水池の整備につきましては、県や仁鮒簡易水道と協議しながら、各戸への給水に支障がないように対策を講じて参ります。

堤防通路の通行止め

銀杏橋・琴音橋間の堤防通路について、先の議員協議会でもお話申し上げましたが、去る９月28日、銀杏橋たもとの堤防で交通死亡事故が発生し、管理者であります国土交通省能代河川国道事務所から、ただちに

12月定例町議会

通行止めしたいとの意向が伝えられました。その後、町と管理のあり方について協議を進め、生活に密着した薄井、二ツ井本町に接する堤防と、荷上場地区の一部は町が占用、管理し、桜づつみ公園・河畔公園の75メートル区間については、公園利用者の安全を確保するとして、今月1日から通行止めとしております。

なお銀杏橋から二ツ井小学校グラウンドまでの間1655メートルについては、町道認定の準備を進めて参ります。

大堰での雪処理

町の中心部を流れる大堰を雪の処理に使うことができないか、永年の懸案でありましたが、今冬から、流雪溝として活用すべく、準備を進めております。冬期間の大堰は消防水利としての利用が主でありますが、それを確保したうえで、流雪溝として活用できるよう関係団体、地元の町内会と協議を進めております。試行として12月は町の小型ロータリー車で沿道の雪を投雪し、状況をみながら、新年から一般の利用を開始したいと存じております。

地域雇用

町では11月21日に二ツ井町地域雇用創造協議会を設立し、厚生労働省へ農業、林業、その他製造業の3分野を地域重点分野として申請致しました。地域重点分野の設定は、地域においてその分野を育成・振興策を講じている場合に限り、新たに起業を図る事業者に対し、雇用状況に応じた助成金を受けられるようにする趣旨であります。

当面1月から合併までの期間となりますが、新たな事業展開を考えている方々に、雇用上の有効な制度であり、PRして参ります。

小学校再編

平成20年度を目標とした小学校再編につきまして、将来とも児童の学習、生活の場にふさわしい学校施設とするため、目標とする学校像へ近づけるべく建設計画を進めております。

統合小学校の候補地選定にあたっては、周辺環境や校地環境、また通学環境の安全性、子どもらが学習や学校生活を過ごすにふさわしい広さを持ち、地域の特色を持った学校環境をと考えております。加えて、地域防災機能、すなわち緊急避難所の機能を備えた施設としてもふさわしい候補地を比較検討し、速やかに議会のご意見をうかがい、候補地の決定を急いで参りたいと存じております。

総合体育館の供用

総合体育館の供用が11月1日から開始され、順調に運営されております。1カ月間の使用者総数は5334人、うち有料使用者1630人、無料使用者は観覧者とあわせて3704人でありました。有料使用者の内訳はアリーナの練習・大会あわせて1136人、トレーニングルーム441人、使用料は総額40万4240円でありました。引き続き利用増進に努めて参ります。

▲総合体育館アリーナの利用状況

アスベスト

「アスベスト」の問題により、9月20日から福祉会館講堂及び2階大会議室の使用を見合わせて参りました。先にもご報告申し上げましたように、2階大会議室の使用には問題がない状態でありますが、より安心して利用していただくために、その奥の通路、物品庫の部分を壁で囲い込む改良工事を実施することといたしました。講堂につきましては、ステージ廻りの構造が複雑なことから、改善方法の検討や工事にいましばらく時間を要する状況であり、引き続き使用を見合わせることとしております。